

# ワクチン・新規モダリティ研究開発事業 中間評価結果報告書

## 1. 中間評価を実施した課題

課題名	100 日でワクチンを提供可能にする革新的ワクチン評価システムの構築
研究開発代表者	国立大学法人東京大学 医科学研究所 教授 石井 健
公募枠	非臨床薬効試験支援に係る研究開発（特定領域公募）

## 2. 本課題の概要

本課題は、ワクチン・新規モダリティ研究開発の推進に向けて、非臨床薬効試験の技術的サポートを行う支援ユニットの機能を担う研究課題であり、平時から今後起こりうる感染症パンデミックを想定し、100 日ミッションを念頭に革新的ワクチン評価システムの構築を目指している。

## 3. 評価結果

当事業専用の BSL3 対応の動物実験施設を東京大学医科学研究所内に設置し、分担研究機関である国立感染症研究所および医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センターとの密接な連携の下、遺伝子解析による病原体同定及び *in vitro* 解析、感染動物モデルの構築、免疫応答解析、ワクチン効果の実証という一連の流れを着実に構築した。また、支援ユニット機能として、政府が指定する「重点感染症」に対応した非臨床薬効試験の技術支援体制を整備し、採択課題の研究推進のための技術支援を遂行し、その実績として 100 日ミッションを念頭に、AMED 他事業とも連携し、感染症有事を想定した Mpox を題材とした実践トライアルを行い、候補ワクチン開発の実用化に向けた開発研究に貢献した。さらに、国内の各領域のスペシャリストが参画して世界トップレベルのサイエンスを推進し、確立した技術は SOP 化、動画作成等を通じて、若手研究者の育成に活用するとともに国内 CRO への技術移管を行うなど、ALL JAPAN でワクチン開発の実用化に向けた研究実施体制の構築に取り組んでいる。

以上